

由良町保育目標・幼児教育目標

由良町・由良町教育委員会

保育目標

由良町では、『心身ともに健康で、豊かな社会性を有する人材の育成』を保育の目標と定め、保育所保育指針に基づき、次の諸事項を目指して、保育を実施しています。

- 十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を適切に満たし、生命の保持及び情緒の安定を図ること。
- 健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと。
- 人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切に作る心を育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培うこと。
- 生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の基礎を培うこと。
- 生活の中で、言葉への興味や関心を育て、話したり、聞いたり、相手の話を理解しようとするなど、言葉の豊かさを養うこと。
- 様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培うこと。

幼児教育目標

幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期であり、『多様な体験や活動を通じて、学校教育への芽生えを育む』必要から、3歳児から5歳児に対しては次の教育目標を定め、幼児教育に取り組みます。

- 《健康》 健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
- 《人間関係》 他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。
- 《環境》 周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。
- 《言葉》 経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。
- 《表現》 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

幼児教育の実施に当たっては、幼稚園教育要領に沿った内容を基本としますが、特に次の事項について重点的に実施します。

幼児教育重点事項

- 屋内外での遊び・運動を通して、丈夫な体をつくり、自分以外の人との協調性をやしなう。
- 集団生活の中での体験を通して、ものの良し悪しの判断をする心をやしなう。
- 動植物の世話や、自然とのふれあいの中で、優しさや命を尊ぶ心をやしなう。
- 食育を通じた望ましい食習慣の形成（はしの使い方、好き嫌い等）をする。
- 「早寝、早起き、朝ごはん」の健康的な生活リズムを身に付ける。
- 数量に関して、日常生活の中で幼児自身の必要感に基づく体験を大切にし、数量に関する興味や関心を持つ。
- 絵本や物語などの読み聞かせを通して、言語活動の素地づくりをする。
- 日常生活の中で、文字を使いながら思ったことや考えたことを伝える喜びや楽しさを味わい、文字に対する興味や関心をもつようにする。
- 感じたこと、考えたことを音や動きなどで表現したり、正しくエンピツを持ち自由に書いたり、作ったりする。
- 書き方遊び、英語遊び等を通して、言語活動への興味関心をもたせる。
- 特に5歳児にあっては、小学校での学習活動へのスムーズな移行のため、生活の準備、学習の準備をする。